

長さ27メートル 2つ目の空洞発見

11月21日、調布市・外環道工事現場直上での陥没現場周辺で地中に新たな空洞を確認したことが発表されました。11月2日に発見された空洞に続き2つ目となります。外環道工事との因果関係は調査中です。

速やかな原因究明が必要

空洞の大きさは、地表面からの深度約4メートル、幅約3メートル、長さ約27メートル、厚さ約4メートルと推定されます。空洞は、先に発生した地表面陥没の周囲の地盤調査を実施している最中に確認されました。

空洞は道路陥没現場の南側に位置しており、事業者は、直ちに地表面に変状を及ぼすものではなく、緊急的な対応は必要ないが、速やかに埋めるとしています。また、今回確認された空洞も含め、引き続き、原因及び工事との因果関係を究明するとしています。

外環道工事は中止するべき

今回の地下空洞の地表部分には住宅もあり、極めて深刻な事態です。近隣住民からも不安と怒りの声が相次いでいます。住民の生命と暮らしを直接脅かす事態であるのにも関わらず、未だに原因究明が行なわれておらず、次々と深刻な事態が発生しています。

これまで、外環道工事については、地上への地下水噴出、野川や白子川からの酸欠空気の発生、振動と地盤への影響等々、あらゆる異常な現象が相次いできました。

その都度、党区議団や近隣住民は、繰り返し警鐘を鳴らし、外環道トンネル工事の問題点、安全性について取り上げてきました。一方、国・事業者は、その声を省みることなく、住宅街の直下を使用し工事を進めてきたことは許されません。外環道工事は直ちに中止すべきです。

新たに発見された地中空洞の状況



杉並区民アンケート開催中!

新型コロナや消費税増税で生活に大きな影響が出ています。ぜひ、皆様のくらしの実態を教えてください。

webでの回答はコチラ



今週の 한마

杉並区民アンケートへのご協力、ありがとうございます。党区議団が実施している杉並区民アンケート（左）は、地域の党员・後援会員のみなさんのご協力のもと、全地域へのポスティングが始まっています。連日、100件を超える返信が寄せられている状況です。コロナ禍のもと切実な訴えも多く、お寄せいただいた声は速やかに杉並区政に届け、改善を求めます。引き続き、ご協力をお願い致します。